

エフエム八ヶ岳番組審議会報告

エフエム八ヶ岳はリスナーの皆様のご意見を番組制作に反映させ、より良い番組づくりの務めております。放送内容について皆様からのご感想、ご意見をお待ちしております。今後の番組制作の資料とさせていただきますので、どうぞお気軽にお寄せください。

■2020年1月

エフエム八ヶ岳の第160回番組審議会は1月18日、北杜市小淵沢町のエフエム八ヶ岳演奏所ホールで開かれました。議題は昨年10月からの新番組「ほくとラジオ往診」(毎月第1・2水曜日放送)。北杜市明野町でほくと診療所を運営する中島克仁院長(衆院議員)に出演してもらい毎月原則2回の番組を制作しています。地域医療を中心に、身近でカレントな医療、話題について話してもらっています。放送内容について、審議委員6名、放送局から1名が出席し、意見を交わしました。委員からの主な意見は次の通りです。

- ・タイトルが親しみやすい。超高齢化社会に差しかかっている中、タイムリーな番組として期待が持てる。
- ・今回は、インフルエンザ・ノロウイルス・ヒートショックの3点が話題となっていた。日頃、疑問に感じていることや基礎的なこと、いまさら聞けないと思っていることなど、丁寧に話していてよかった。
- ・医療について深刻な課題も多くあり、今後、問題提起や解決策の提案など、少し深掘りしていくことが期待される。
- ・高齢者が多い地域なので、高齢者向けの医療について詳しくアドバイスをしてほしい。
- ・健康・医療全般について、誰にでも聞いてもらうのに充実した内容になっている。毎週の番組ではないのが残念なくらい。今後に大いに期待したい。
- ・国レベルの話が何度か出ていた。こうした広い視点での情報提供が有益と考えている。その一方で、地域独特の問題点などバランスの良い話題、情報提供を期待したい。
- ・司会の方が番組を上手に誘導する役割を十分に果たしていた。中島先生の答えを上手に導くような事前の勉強と、番組の構成・進行に、その工夫を見ることができた。
- ・とかく難しくなりがちな医療問題だが、シンプル化して分かりやすい進行でよかった。質問の内容もよく整理されていて、聴取者にとって理解しやすい内容になっていた。
- ・音楽も時期に合わせた選曲で、よい番組作りの姿勢が見えて、とても好感が持てた。
- ・番組はしっかりと構成になっているが、今後、聴取者からの反応がある場合、質問なども含めて、番組の中で紹介するのはどうか。また、次回に話される項目について事前にお知らせしておく、番組を聞く人が増えるのではないかな。
- ・聞いている人からの質問を募って、それに応える「一問一答」のコーナーなどを設けてもらうとよいと思う。よい番組なので、たくさんの人に聞いてもらいたい。